

令和6年度 袋井特別支援学校磐田見付分校 第4回 学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和7年2月21日(金) 午前10時から正午まで

2 場 所 静岡県立袋井特別支援学校磐田見付分校パソコン室

3 出席者

(1) 学校運営協議会委員

運営協議委員A、運営協議委員B、運営協議委員C、運営協議委員D
運営協議委員E

(2) 本校職員

校長、副校長、部主事、教務課長、進路指導課長

4 議事

(1) 開会：学校長あいさつ

一年間の分校の教育のまとめと、来年度の教育について、御意見をいただき、その御意見を活かして、よりよい教育をしていけるようにしていきたい。

(2) 授業見学(3年生の授業参観)

ALTによる学習

(3) 進路指導と状況について(進路指導課長)

ア) 令和6年度の進路状況と産業現場等における実習先について

- ・令和6年度卒業予定者について、12名中11名が企業就労、1名は詳細については未定であるが、福祉就労の予定。企業就労の半数は製造業。
- ・産業現場等における実習は企業77か所、福祉事業所1か所で実施。内訳として、全体の5割弱にあたる35か所が製造業(食品加工含む)。

イ) 御意見や御質問(・) それに対する回答(⇒)

(運営協議委員B)

・実習先の企業は増えていますか。

⇒総数としては増えています。

(運営協議委員A)

・実習先に就職をしていますか。

⇒就職しています。生徒は卒業までに6回程度実習をしているので、その中から就職先を決めているため、就職率は5分の1程度です。

(運営協議委員B)

・実習だけなら受け入れる企業はどれ位ありますか。

⇒半分弱程度です。最近では雇用を考えて実習を受け入れてくれる企業が多いです。

・ハローワーク等とは連携していますか。

⇒常にしています。色々と関係機関より情報を提供いただいています。

(副校長)

・各事業所様には丁寧に実習生を見て評価もしていただいている。実習後の生徒の様子より、地域に育てていただいていることを感じている。

(4) 協議事項

ア) 令和6年度の学校評価について(副校長)

- ・自己評価は職員評価中心で考えました。10割はA、7割強はB、4割から7割はC、4割以下はD評価とした。
 - ・学校経営書に基づき、取組状況と自己評価を報告した。
- ① 「校内事故0を目指し具体的な予防策に取り組んだ職員100%」評価B
 - ・事故ゼロに向けた対策を職員間で共通理解することができたが、保健体育のときに怪我をした生徒がいた。準備体操をしっかりと行うことや注意喚起をしていきたい。
 - ② 「マニュアルを基に、状況に合わせた対応ができたと答える職員100%」評価B
 - ・避難訓練は年に7回実施した。マニュアルの確認と実地訓練を合わせて行ったことで、状況に応じた判断ができたが、マニュアルが多すぎて内容を把握しきれなかったことなどに課題があった。
 - ③ 「有事の際の自分の役割や行動を、具体的に想定することができる職員100%」評価A
 - ・有事に備え、居住地を記載した地図を見て危険箇所を確認する研修も行った。
 - ④ 「授業内容を学年等で共有し、実生活や将来の生活に必要なことを個々の生徒に働き掛けた職員100%」評価B
 - ・近い将来を想定して指導ができたが、情報共有の難しさを感じた。
 - ⑤ 「資料事前提示、資料を事前に一読、会議終了時刻の明示をした職員100%」評価B
 - ・早めの提案や資料の事前配付はできたが、会議が長引いてしまうことがあったり、資料の読み込みが出来なかったりすることがあった。
 - ⑥ 「生徒の実態に合わせた判断基準を基に授業を行った職員100%」評価A
 - ・評価はAであるが、生徒の実態に本当に合った内容であったか考えていきたい。
 - ⑦ 「学習評価と授業評価をもとに授業改善に取り組んだ職員100%」評価B
 - ・単元や授業間のつながりを考えていきたい。
 - ⑧ 「キャリア教育の視点を取り入れて授業を行った職員100%」評価B
 - ・年間計画の見直しをして、より良い授業にしていきたい。
 - ⑨ 「自他の人権意識を大切にする態度や生徒の自己有用感を高める指導ができたとする職員100%」評価B
 - ・あだ名で呼んでいるのを聞いたことがあったことが課題。
 - ⑩ 「磐田北高との活動で、磐田見付分校の生徒と一緒に楽しみ自信をもって活動できるように支援した職員100%」評価B
 - ・互いの良さを生かせる計画の難しさを感じた。
 - ⑪ 「生徒が言葉で伝えられるように支援した職員100%」評価B
 - ・言葉が上手く出てこない生徒もいた。その場合の支援を考えていきたい。

- ⑫ 「卒業後のことも含め、必要な関係機関と連携を図った職員 100%」 評価B
 - ・三年間のどの段階でどの機関と連携を図ればよいか、共通理解していきたい。
- ⑬ 「連絡ノートを通じて、生徒の授業での様子を月2回以上伝えることができた職員 100%」 評価C
 - ・連絡ノートではできなかったときもあったが、他の方法も使い様子は伝えていた。
- ⑭ 「進路便り、面談等を通じて、現場実習前後に、進路に関する情報を伝えることができた職員 100%」 評価B
 - ・来年度も伝えていくことを大切にしていきたい。

イ) 御意見や御質問 (・) それに対する回答 (⇒)

(運営協議委員A)

- ・評価は難しい。B評価の幅をもう少し広げた方が評価しやすくなるのではないかな。

(運営協議委員C)

- ・⑬の評価は他の方法で伝えていたのであれば、B評価でもよいのではないかな。
 - ・生徒の居住地域のハザードマップは生徒と共有したのか。
- ⇒防災関係の内容は理科や社会で取り扱っている。

(運営協議委員E)

- ・⑥はA評価であるが、子どもが理解できていない学習内容もあるのではないかな。評価しようがないと感じた。

(運営協議委員A)

- ・校内での怪我はどのようなものがあったか。
- ⇒保健体育でタグラグビーをしていて、ジャージに手が入ってしまったことで、指に怪我をしてしまった。

ウ) 令和7年度学校経営計画について (校長、副校長)

令和7年度の経営方針について説明し、承認をいただいた。

- ・目指す学校像は、自ら光る生徒を育てる(自分のよさを磨く)こと。安全、安心があった上で、授業を行ったり連携したりしていきたい。
- ・学びを支える環境づくりとして、交通事故防止のための指導をしっかりと行っていきたい。
- ・健康と体力を育むために、保健体育の学習及び食に関する指導を行っていく。
- ・働く環境づくりとしては、令和6年度から継続した目標で取り組みたい。
- ・学びを積み上げる授業を実施するために、令和6年度は教科学習の充実を図ること力を入れてきたが、職業の授業の充実を図るところに力を入れていきたい。
- ・磐田北高との共生・共育については、取組目標を具体的に変更した。協力して活動することができるようにしていきたい。
- ・関係機関との連携については、関係機関を意識できるように、明確にした。
- ・家庭との連携については、連絡ノートに拘らず、伝えることを大切にする意味で

成果目標を「生徒の授業でも様子を伝えることができた教員 100%」とした。

エ) 御意見や御質問 (・) それに対する回答 (⇒)

(運営協議委員 A)

・連絡ノートでの連絡が上手くいかなかったのか。

⇒必要に応じて、電話連絡をしたり、直接話をしたり、学年だよりで伝えたりした。

・表記を「連絡ノート中心に」など、分かりやすくしてはどうか。

(運営協議委員 D)

・防災マニュアルは県の指針に沿ってか。

⇒県の指針に沿ってであるが、マニュアル自体は学校で作っている。

・防災のマップもよいが、防災アプリの活用もしてはどうか。

・Instagram の標題等はどうなっているのか。

⇒多くの人に見ていただきたいので、ハッシュタグをつけるようにはしている。

(運営協議委員 E)

・Instagram の記事の担当者はいるのか。

⇒特に担当者は決めていない。まだ始めたばかりで記事も少ないが、今後は生徒からの発信も含め、載せ方も工夫していきたい。

(運営協議委員 B)

・センター的役割については、どういう状況か。

⇒コーディネーターや進路担当を中心に依頼を受けて訪問をするなど、継続して行っている。

(校長)

・安全、安心を考える上で、自転車に乗る場合にヘルメットの着用を強く推奨していきたい。

オ) 不祥事根絶 (コンプライアンス) について (副校長)

一年をとおして、適切に対応できたと思っている。朝の打ち合わせを年度途中から増やした。その時間も活用し、県内の不祥事の伝達や指導、情報の共有ができた。

カ) 御意見や御質問 (・) それに対する回答 (⇒)

(運営協議委員 B)

・学校の実績は 0 件ですか。

⇒はい。

⇒冗談のつもりの内容が生徒にとっては嫌な内容だったなどの報告が年間にいくつか上がっている。生徒と教師の距離感を保つことも大切にしていきたい。

(5) 連絡事項 (今後の予定)

・ 3月 13 日 (木) 午前 9 時 30 分から 卒業式 (磐田北高等学校さみどり会館)

・ 4月 8 日 (火) 午後 1 時 30 分から 入学式 (磐田北高等学校さみどり会館)

(6) 閉会

学校長あいさつ

一年間ありがとうございました。頂いた御意見を十分に活かしていきたいです。